

監事監査報告書

平成18年6月28日

国立大学法人大阪教育大学

学長 稲垣 卓殿

監事 下谷昌久

監事 西 育良

1、監査の方法の概要

私たち監事は、国立大学法人法第11条第4項及び国立大学法人法第35条において準用する独立行政法人通則法第38条第2項の規程に基づき、国立大学法人大阪教育大学の平成17年4月1日から平成18年3月31日までの第2期事業年度の財務諸表等並びに事業報告書及び決算報告書について監査を実施した。

監査の方法は、両名で定めた監査の方針、職務の分担等に従い、役員会その他重要な会議に出席するほか、重要な決裁書類・契約書等を閲覧した。更に、役員等から業務運営の報告を聴取し、各部門責任者からは業務処理の状況を聴取するとともに本部及び主要な部門において業務及び財産の状況を調査し、書面・証拠書類の閲覧によりこれを確かめた。また会計監査人から報告及び説明を受け、財務諸表等、決算報告書、事業報告書につき検討を加えた。

2、監査の結果

- (1) 会計監査人であるあずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認める。
- (2) 事業報告書は法令・諸規定等に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 財務諸表等及び決算報告書は必要な事項を正しく示していると認める。
- (4) 理事の業務執行に関しては、不正の行為または法令・諸規定等に違反する事実は認められない。

以上